



文化財の 防火訓練

文化財防火デーの一月二十六日、二荒山神社（国の重要文化財）付近から出火——を想定し、文化財の防火訓練が行われました。

午後一時三十分から行われた

地域ぐるみで 非行防止

青少年の健全育成や非行防止を呼びかける看板が、十二月二十六日、七里自治会役員、七里地区防犯協力会々員、少年補導員たちの手で、七里地内に立てられました。

この日設置した看板は、「つみとろう今なら芽の非行にあう」
「カギかけは家族みんなの合言葉」などと書かれたもので、東中学校入口、加藤石材店前など七か所に取り付けられました。

この看板は、七里の自治会や防犯協力会の会員の手作り看板だけに、青少年の非行防止の願いが込められており、看板の取り付けにあたった人たちは「この看板が、青少年の健全育成や非行防止の一助になれば、作った甲斐があります」と話していました。

▼七里地内に立てられた非行防止を呼びかける看板



訓練には、二荒山神社、東照宮、輪王寺の各自衛消防隊、社寺文化保存会事務所、山内自警団などの自衛消防隊員など約百六十人が参加しました。

火災発生と同時に、消防署へ通報するかたわら、バケツリレーや消火器などで消火にあたりました。

また、「水のカーテン」と呼ばれるドレンジャーも一斉に水を吹きあげて延焼防止に威力のあるところをみせました。

雪が残る中での訓練でしたが、消防訓練は終始テキパキと行われ、文化財を守ろうという意気込みが感じられました。

善意銀行

昨年十二月中に日光善意銀行に預託された方々は、次のとおりです。善意あふれたご協力に深く感謝します。（敬称略）

- 〔現金預託〕◎市内要援護者に
知野イネ（稲荷3）三千元 ◎
市内の恵まれない子に 植木善見（匠7）四千元 ◎下野三薬園に 竹沢啓三（下鉢石）千元
- ◎交通遺児に 沼尾光和（清滝3）五千元 小来川ダンス愛好会スイギングガード 六万七千三百円 ◎身体障害者に 野沢光枝（稲荷2）二千元 親和会孔版社有志（清滝2）三千元 岡崎義夫（戦場ヶ原）二千四百二十五円 絵画三人展一同 二万九千六百円 ◎身体障害者友愛会に匿名 二千元 ◎身体障害者授産施設資金に 華嚴の滝エレベーター営業所 三万六千三百円 ◎老人福祉に 小森谷タマ（御幸）二千元 寺田良一（安川）六千元 ◎社会福祉に 白百合幼稚園園児一同 一万三千円
- 〔物品預託〕◎市内要援護者に スイートクラブ細尾女性ドライバークラブ 日用雑貨八十点

篤志寄付

渡部いくさん（今市市平ヶ崎二三）は、一月十日、市役所を訪れ、「教育関係の整備に役立ててください」と、十万円を寄付されました。

これは、渡部いくさんのご主人、正さん（本年一月六日死去）が、昭和二十二年四月から同二十四年一月まで二荒中学校（現在の中宮祠中学校）長を勤め、また、昭和二十九年九月から五十二年八月までの十二年間、日光市文化財保護審議会委員を務めるなど、日光に関係が深く、故人の遺志によるものです。

このため市教育委員会では、今、故人の遺志を生かした使いみちの検討を進めています。